

米粉用米の需要に応じた生産に向けて

北陸米粉サロン

近年、米粉は加工技術の進化により、米粉の用途と楽しみ方がますます広がり、需要が拡大しています。一方で、この需要に供給が追いついていないことが、現在の課題となっています。

この度、北陸農政局では米粉の生産者、需要者等の各方面から現状を紹介いただき、米粉用米の生産拡大に向けて意見交換を行います。米粉に関心のある方はぜひご参加ください。

参加
無料

開催日時

令和 7年 3月 14日(金) 13:30 ~ 15:30

開催方法

オンライン開催 (Microsoft Teams)

どなたでも
お気軽に
ご参加ください!

プログラム

オープニング

「米粉をめぐる状況について」
(農林水産省農産局穀物課)

ブリーフィング

右記参照

ディスカッション

テーマ

「米粉用米の生産拡大に向けて」

参加企業

(株)波里、新潟製粉(株)、長崎産業(株)、
(農)大潟ナショナルカントリー、
農研機構中日本研究センター
(敬称略、順不同)



ブリーフィング参加者

ふじい よしふみ

藤井 義文 氏 (新潟製粉株式会社 代表取締役)

新潟県が技術開発した「微細製粉技術」による新規米粉を、世界に先駆けて実用化するために設立。安全・安心で優れた製品をつくることにに対し積極的に取り組み、日本の食料自給率の向上に寄与し、次世代を担う子どもたちに日本の「食料安全保障」を大切な共有財産として残したいと考えています。北陸における米粉について、特徴や需要、今後課題となりうる米粉の需要について、お話しいただきます。



ふじなみ たかゆき

藤波 孝幸 氏 (株式会社波里 代表取締役社長)

業務用・家庭用米粉製造・販売でマーケットシェアを確立し、いち早く米粉の用途別基準の普及に努め、国内初のノングルテン米粉製造工程管理JAS認証を取得。国内外グルテンフリー市場において、国産米粉の消費ニーズを見込み、米粉の品質向上と普及に取り組んでいます。今回は、米粉の特性や用途、昨今のニーズや需要について、広い知見からお話しいただきます。



かなざわ ひでゆき

金澤 英幸 氏 (農事組合法人 大潟ナショナルカントリー 専務理事)

個人作業で重労働だった農業を法人化することで、合理的な生産体系を組み、所得を確保する。農業を志す若者が職業として農業を選択できる、そんな場所を目指して設立。現在、新たな方針や創意工夫により、地域のつながりを大切にしながら、安心・安全な農産物の生産、販売に取り組んでいます。新潟県での米粉用米(専用品種)の栽培、販売における課題等をお話しいただきます。



申込方法

以下のWebフォーム(二次元バーコード)からお申込みください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokuriku/form/seisan/250314.html>

※お申込によって得られた個人情報は、厳重に管理し、本サロンの運営のみに使用させていただきます。



【お問合せ】

北陸農政局生産部生産振興課 柳田、鹿本
TEL: 076-232-4302 (直通)

申込締切 令和7年3月12日(水) 17:00